

元気な草加 優しい越谷

NEWS LETTER

衆議院議員・弁護士

細川律夫



2010年11月1日 No.167

細川律夫国会事務所 Tel 03-3508-7513 Fax 03-3593-7148 E-mail g04091@shugiin.go.jp
南越谷事務所 Tel 048-989-8788 Fax 048-989-5300 HP: <http://www.hosokawa-ritsuo.jp>

厚生労働委員会で所信表明



→児童虐待の防止、年金制度と年金記録問題、高齢者介護・福祉、障害者福祉、自殺対策、生活保護、医療制度改革、地域の医療供給体制をはじめとする様々な医療に関する施策について述べた後、最後に厚生労働省改革に向けた取組みを進めることを約束しました。

次いで、21日、22日には、参議院、衆議院の厚生労働委員会で、所信に対する質疑が行われ、与野党の議員が様々な問題について大臣などに質問しました。特に、21日の

参議院の委員会では、自民党の比例で当選した三原じゅん子議員の初質問ということで、世間の注目を浴び、たくさんのテレビカメラが入った質疑が行われました。

10月20日、衆議院厚生労働委員会にて

臨時国会開幕

10月1日、菅改造内閣発足後初の国会が召集され、菅首相の所信表明、各党の代表質問の後、12日から衆参で予算委員会が開かれ、細川律夫厚生労働大臣も連日答弁に立ちました。大臣としての初答弁がNHK中継の予算委員会ということで、緊張気味ではありませんでしたが、そつのない答弁振りで乗り切りました。

19、20の両日は参議院と衆議院の厚生労働委員会が開かれ、大臣として所信表明の演説をし、約20分間、厚生労働行政の主な施策について説明しました。所信表明とは、大臣就任にあたって、今後の方針を提示するもので、まず新卒者・若年者を中心とした雇用問題、雇用保険、最低賃金、労働者派遣など労働分野の主な施策に触れ、ついで社会保障全般に関し決意を述べた後、子ども手当、保育所整備など子育て支援、→



10月22日、質問に答える細川厚生労働大臣

この国会では、去る8日に発表された「円高・デフレ対応のための緊急経済対策」に基づいて編成された補正予算が最大のテーマですが、厚生労働省からは、前国会から継続審議となっている労働者派遣

法改正案など3法案と新たに雇用能力開発機構廃止法案が提出されています。大臣としては4本の法案成立に向け努力すると発言していますが、短い会期のなか、自民党など野党の抵抗もあり、「ねじれ国会」のもと、なかなか先が読めない状況が続いています。

年金記録の突合せ始まる

大臣就任から、1か月が過ぎましたが、この間にもいろいろ公務をこなしています。

この12日から、年金記録問題の解決のために、紙台帳とコンピューター記録を突合わせる作業が始まりました。これは、これまでは「ねんきん特別便」などで年金加入者の皆様から記録の誤りを指摘してもらっていたのに対し、この突合せは、国が7億件にも及ぶ全記録を調べ自ら誤りを加入者に伝えるというもので、前大臣から引き継いだマニフェストでも約束している事業です。大臣は、10月20日、お台場にある日本年金機構の現場を視察しました。



10月19日、年金記録突合せ作業の現場を視察

高齢者医療制度の検討進む

マニフェストで、75歳以上を差別する後期高齢者医療制度の廃止を約束していますが、新制度に向けた検討が進み、来年の通常国会には法案を提出する運びになります。大臣は10月25日に行われた高齢者医療制度改革会議に参加しました。現在独立している後期高齢者保険を国民健康保険と被用者保険に移し、将来国

民健保は都道府県単位の保険にする方向で議論されています。



10月25日、高齢者医療制度改革会議で挨拶

そのほかにも様々な公務や視察を行い、多忙な毎日を過ごしています。



10月20日、ハンセン病療養所を視察する大臣

